

DIOCESE OF SAITAMA

TOKIWA 6-4-12, Urawa-ku,  
SAITAMA city  
〒330-0061, JAPAN  
TEL: 048-831-3150  
FAX: 048-824-3532



カトリックさいたま教区

さいたま市浦和区  
常盤 6-4-12  
〒330-0061  
TEL: 048-831-3150

わたし ひと からだ ひと こころ  
私たちが、「キリストにあって、一つの体、一つの心となりますように」

しんあい きょうく きょうだいしまい みな  
親愛なるさいたま教区の兄弟姉妹の皆さん

あ  
明けましておめでとうございます。

まいとし とし はじ ひ かみ ほほせい さいじつ いわ ねん たいこく  
毎年、年の初めの日を「神の母聖マリア」の祭日として祝います。また、1968年、大  
あつりよく ひじょう きんちようじょうたい せかい へいわ ねが きょうこうせい せい くだ  
の圧力で非常な緊張状態にあった世界の平和を願って、教皇聖パウロ6世によって定  
められて以来、「世界平和の日」としても迎えます。残念ながら、それ以降、今日に到  
まで、世界のさまざまな地域で戦争が止まることはありませんでしたが、カトリック教会  
へいわ とく せかいじゅう つよ こんにち にほん つよ かん きょうこう  
の平和への取り組みは世界中で強まり、今日の日本でも、そのことを強く感じます。教皇  
じしん きょうかい かしら しんじゅ しょうきょう  
フランシスコご自身、教会の頭として、カトリック信者だけでなく、すべての宗教  
しどうしゃ よ せかい へいわ とも いの つど まいとしつづ  
指導者にも呼びかけ、世界の平和のために共に祈る集いを毎年続けておられます。

ねん こ かんせんかくだい わたし きょうかいきょうどうたい ほか し  
さて、3年を超えるコロナ・ウイルスの感染拡大は、私たち教会共同体にも計り知れ  
ない影響をもたらしました。小教区の多くでは、人々が教会から距離を置いており、  
こうかい さいかい きょうどうせいかつ もど かがた おお しゆにん  
公開ミサが再開されても共同生活に戻ってこない方々が多いのではないのでしょうか。主任  
しさい はじ きょうかいいんかい さまざま かつどう あらた さいしゅつぱつ  
司祭を始め、教会委員会、様々なグループの活動を改めて再出発しましょう。コロナ・  
とも い せいかつ つづ おも きょうかいきょうどうたい せいかつ じょじょ  
ウイルスと共に生きる生活はまだまだ続くとお思います。教会共同体の生活を徐々にでは  
あっても、熱意をもって、再出発させましょう。

それにつけて思い出すのは、教皇聖ヨハネ・パウロ二世は、1979年にラテンアメリカ  
しきょう たいかい おどす あたら ふくいんせんきょう よ  
の司教たちの大会のためにメキシコを訪れたとき、「新しい福音宣教」の呼びかけをさ  
れました。「新しい」とは「新しい熱意、新しい方法と工夫、そして新しい時代の  
げんじょう こた ないよう い み きょうちよう  
現状に伝える内容」という意味であると強調されたことです。

皆さん、このコロナ後の新しい生活を日曜日のミサへの参加から始まり、主との一致を元<sup>もと</sup>に、共に祈る意識<sup>いの いしき</sup>を各小教区<sup>かくしょうきょうく</sup>で生かし、愛徳<sup>あいとく</sup>のわざを広げていけるようにすれば、神様<sup>かみさま</sup>から豊かに祝福<sup>しゅくふく</sup>されます。それを信じながら新しい年<sup>しん あたら</sup>を歩み始めましょう。

さいたま教区司教<sup>さいとうきょうくしきょう</sup>という重責<sup>じゅうせき</sup>を担ってから5年目を迎える年の初めに当たって、さいたま教区<sup>さいとうきょうく</sup>の特別<sup>とくべつ</sup>の豊かさとして神様に感謝<sup>かみさま かんしゃ</sup>したいと思<sup>おも</sup>いますことは、教区には沢山の外国籍<sup>こくせき</sup>の方々が、一時的な旅人<sup>いちじてき たびびと</sup>としてではなく、定住者<sup>ていじゅうしゃ</sup>とな<sup>な</sup>って、皆さんの小教区<sup>しょうきょうく</sup>の欠か<sup>か</sup>せない一員<sup>いちいん</sup>となっていること<sup>こと</sup>です。日本で生まれ、育<sup>そだ</sup>った子どもたちが、教会<sup>きょうかい</sup>の中で、そして、日本社会<sup>にほんしゃかい</sup>の中で貢献<sup>こうけん</sup>する時代<sup>じだい</sup>を迎<sup>むか</sup>えているのではないで<sup>で</sup>しょうか。私たちの教区<sup>わたしたちのきょうく</sup>は大きな一つの共同体<sup>ひと きょうどうたい</sup>です。神様<sup>かみさま</sup>が送<sup>おく</sup>って下さ<sup>くだ</sup>った外国<sup>がいこく</sup>の方々と<sup>かたがた</sup>の交<sup>まじ</sup>わりを深<sup>ふか</sup>め、それぞれの教会<sup>きょうかい</sup>で共に歩<sup>あゆ</sup>んでいく、その歩<sup>あゆ</sup>みを一層<sup>いっそう</sup>進<sup>すす</sup>めてくださ<sup>ねが</sup>るよう願<sup>ねが</sup>っています。

わたくしの司教<sup>しきょう</sup>としてのモットー「キリストによ<sup>ひと</sup>って、一つの体<sup>からだ</sup>、一つの心<sup>ひと</sup>となりま<sup>こころ</sup>すように」が新年<sup>しんねん</sup>の教区<sup>きょうく</sup>のモットーでありま<sup>いの</sup>すようにと祈<sup>いの</sup>ります。

皆さんもわたくしも共に歩<sup>あゆ</sup>めるように、新年<sup>しんねん</sup>の祝福<sup>しゅくふく</sup>を送<sup>おく</sup>ります。

主<sup>しゅ</sup>が皆さんを祝福<sup>しゅくふく</sup>し、守<sup>まも</sup>り、必要<sup>ひつよう</sup>な恵<sup>めぐ</sup>みを豊<sup>ゆた</sup>かに与<sup>あた</sup>えて下さ<sup>くだ</sup>いますように。

父<sup>ちち</sup>と子<sup>こ</sup>と聖霊<sup>せいれい</sup>のみ名<sup>な</sup>によ<sup>よ</sup>って。アーメン。

2023年元旦<sup>ねんがんとん</sup> 神<sup>かみ</sup>の母聖<sup>ははせい</sup>マリア<sup>さいじつ</sup>の祭日

カトリックさいたま教区<sup>きょうく</sup>  
司教<sup>しきょう</sup> マリオ 山野内<sup>やまのうち</sup> 倫昭<sup>みちあき</sup>